

Funehiki High School News vol.154

～がんばる船高生～
ATTENTION!

第34回 新型コロナウイルス感染症対策に取り組む高校生！ 白石陸登さん、宗像美咲さん

今回の新型コロナウイルス感染症の影響により、船引高校でも臨時休業が続き、部活動の休止や学校行事の延期・中止など例年にならぬ事態となっています。1日でも早く日常を取り戻せるよう努力している本校生徒のさまざまな取り組みをご紹介します。保健委員会委員長白石陸登さん（3年 常葉中出身）と家庭クラブ会長宗像美咲さん（3年 船引南中出身）に話を聞きました。（取材時は、臨時休業中の登校日）

—保健委員が感染症対策として、実施していたことはありますか？

白石さん 手洗いや、手指のアルコール消毒、マスクの着用を呼びかけ、休み時間に教室の換気を実施してきました。

—学校が再開されたらどのようなことに取り組みたいです？

白石さん 今後は、今までの活動に加えて、感染症に対する意識を高める活動をしていきたいです。

—それは、どうしてですか、また具体的にはどのような活動ですか？

白石さん みんなが安心して学校生活を送れるようにするには、船高生一人一人が感染症に対する意識を高めていくことが大切だと思っています。そのため、正確な知識を持って適切な対策がとれるよう、自分たちが作る保健だよりにより新型コロナウイルス感染症関連の記事を取り上げる予定です。保健委員として、船高生のために頑張りたいです。



▲保健委員会委員長の白石さん



▲家庭クラブ会長の宗像さん

—家庭クラブでは具体的にどのような活動を始める予定ですか？

宗像さん 本校では毎年、家庭クラブ役員が中心となって雑巾を作り、市の高齢者施設に寄贈するという取り組みを行ってきました。今年度は、布マスクを作る予定です。

—布マスク作成のきっかけを教えてください。

宗像さん 先日、市から布マスクが届きました。マスクが入手しにくいなかでのうれしい体験だったので、自分たちも、学校が再開されたら布マスクを作って、誰かの役に立ちたいと思い、計画しました。私たちの取り組みは小さなことかもしれませんが、みんなで取り組むことで日頃からお世話になっている人たちが社会に貢献し、大きな変化につながればいいなと思っています。

◆オンライン授業の実施

学校の通常登校が難しいなかで、本校ではICTを活用したオンライン授業で家庭学習支援を行う体制を整えています。教員研修会を実施し、離れて勉強する生徒とも双方向でコミュニケーションが取れるようになりました。これからもさまざまな形で生徒の学習をサポートしていきます。

◆デュアル実習にむけて

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度のデュアル実習が延期されています。少ない実習機会を充実させるため、実習生は事前学習に取り組んでいます。実習が始まりましたら、市内の企業・施設でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...https://funehiki-h.fcs.ed.jp mail...funehiki-h@fcs.ed.jp

私の故郷ニュー・メキシコ州には、アメリカ合衆国で最大の鍾乳洞の一つ「カールズバッド洞窟国立公園」があります。広さが129平方キロメートルあり、年間46万人が訪れる巨大で有名な洞窟群です。初めて田村市に来たとき、あぶくま洞という鍾乳洞があると聞いて驚きました。間もなくアメリカ人と日本人の友人たちと一緒にあぶくま洞を訪れる機会があり、鍾乳洞に入る前からきつと忘れられない経験になるだろうという予感は見事、的中しました。

あぶくま洞の入り口で出会った気さくなフランス人の夫婦は、日本中のいろいろな場所を旅していて、今回、あぶくま洞を見るために福島県に来たということでした。



鍾乳洞に入ると、目の前に、自然が造り出した造形美が現れて、とても驚きました。洞内には動物、鋭利な歯、クリ

\\あぶくま洞//は 宝石

初めて田村市に訪れたとき、市民の記念に再訪しました。市民の方々とあぶくま洞の話をする、自分たちの市に自然公園があることをとても喜んでるように思います。しかし、中には、一度もあぶくま洞を訪れたことがない人もいます。驚きました。私は田村市にあぶくま洞のような壮観な自然公園があることはとても幸運なこと、日本人にも外国人にもあぶくま洞を何度も訪れることをお勧めしたいです。あぶくま洞は福島県にとっても、田村市にとっても、貴重な宝石だと思います。



Tim Case
ティム・ケイスさん
(アメリカ合衆国
ニューメキシコ州出身)
田村市に来て3年目

スマスツリー、マッシュルームなどに不気味なほど似ている神秘的な鍾乳石、そして小川が音を立てて流れ、一番広い空間は「滝根御殿」と呼ばれていました。天井から雨水のように落ちる水滴で、まるで鼓動しているかのような多くの鍾乳石を目の当たりにして、カールズバッド洞窟と同じくらいあぶくま洞を楽しみました。

海を越えて 英語指導助手 ペンリレ No. 83



Nathanael Shifley
ナサニエル・シャイフリーさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)
田村市に来て3年目

もし、インドの南部に行ったことがあれば、「ドーサ」というとてもおいしい食べ物の名を聞いたことがあるのではないのでしょうか。ドーサは、塩を混ぜてすりつぶした米でできた食べ物で、クレープに似ていますがポテトチップスのようにパリパリしています。香辛料を混ぜたジャガイモ、マサラ・ポテトを入れて巻き、2種類のソースが付いてきます。2種類のソースは、「ココナツ・チャツネ」(ココナツソース)と「サンバル」(野菜ソース)と呼ばれています。マサラ・ポテトが中に入っていないドーサはプレーン・ドーサと呼ばれ、入っているドーサにひけを取らないほどおいしいです。

ドーサ～大好きなインド料理～

インドに住んでいた時、ドーサが大好きだったのでいつも両親にドーサを作ってもらっていましたが、ドーサを作ることが難しく、インドに行くことがあれば、必ずドーサを食べさせてください。ドーサは世界で人気があり、インドで最もおいしい食べ物の一つです。私のささやかな経験から、皆さんが外国へ旅行される時は、どこへ行って新しい食べ物に挑戦しようという気持ちになることを願っています。

